

校種	学年	エネルギー			
		エネルギーの捉え方	エネルギーの変換と保存	エネルギー資源の有効利用	
小学校	第3学年	<p>風とゴムの力の働き</p> <ul style="list-style-type: none"> 風の力の働き ゴムの力の働き <p>8. 風のはたらき □p. 104</p> <p>9. ゴムのはたらき □p. 114</p> <ul style="list-style-type: none"> 風やゴムの力は、ものを動かすことができる。 	<p>光と音の性質</p> <ul style="list-style-type: none"> 光の反射・集光 光の当て方と明るさや暖かさ 音の伝わり方と大小 <p>6. 音をつたえよう □p. 82</p> <ul style="list-style-type: none"> 音をだすものは振動している。 <p>7. 光を調べよう □p. 92</p> <ul style="list-style-type: none"> 日光はまっすぐ進む。 日光が当たったところは、明るく暖かくなる。 鏡を使うと、日光をはね返すことができる。 虫めがねで日光を集めると、日光が集まった部分が小さくなるほど、明るくなり、紙がこげるくらい熱くなる。 	<p>磁石の性質</p> <ul style="list-style-type: none"> 磁石に引き付けられる物 異極と同極 <p>11. じしゃくのひみつ □p. 138</p> <ul style="list-style-type: none"> 磁石は、ちがう極どうしを近づけたときは引きつけ合い、同じ極どうしを近づけたときはしりぞけ合う。 	<p>電気の通り道</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気を通すつなぎ方 電気を通す物 <p>10. 明かりをつけよう □p. 124</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気を通すものと通さないものがある。鉄やアルミニウムなどの金属は電気を通す。 電気の通り道のことを回路という。
	第4学年		<p>電流の働き</p> <ul style="list-style-type: none"> 乾電池の数とつなぎ方 <p>4. 電気のはたらき □p. 40</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気の流れのことを電流という。 乾電池2個のつなぎ方には直列つなぎと並列つなぎがある。 乾電池2個の直列つなぎでは、乾電池1個のときよりもモーターは速く回転する。 		
	第5学年	<p>振り子の運動</p> <ul style="list-style-type: none"> 振り子の運動 <p>1. ふりこの運動 □p. 6</p> <ul style="list-style-type: none"> ふりこの長さが長いほど、ふりこが1往復する時間は長くなる。 	<p>電流がつくる磁力</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄心の磁化、極の変化 電磁石の強さ <p>7. 電流のはたらき □p. 120</p> <ul style="list-style-type: none"> 導線を同じ向きに何回も巻いたものをコイルという。 コイルに鉄しんを入れて電流を流したものを電磁石という。 電磁石の力を強くするには、電流を大きくするか、コイルの巻数を多くすればよい。また、電磁石の電流の向きを変えると、N極とS極は逆になる。 		
	第6学年	<p>てこの規則性</p> <ul style="list-style-type: none"> てこのつり合いの規則性 てこの利用 <p>5. てこのしくみとはたらき □p. 80</p> <ul style="list-style-type: none"> てこが水平につり合うとき、左右のうでをかたむけるはたらきが等しい。 	<p>電気の利用</p> <ul style="list-style-type: none"> 発電（光電池（小4から移行）を含む）、蓄電 電気の変換 電気の利用 <p>9. 電気と私たちの生活 □p. 173</p> <ul style="list-style-type: none"> 電熱線に電流を流すと発熱する。 発電機の軸を回転させると、電気をつくることができる。 身のまわりの電気製品では、電気は熱や光、音、運動などに変えられて利用されている。 コンデンサーは、電気をたくわえる性質がある。 		

校種	学年	エネルギー			
		エネルギーの捉え方	エネルギーの変換と保存	エネルギー資源の有効利用	
小学校	第1学年	<p>力の働き</p> <ul style="list-style-type: none"> 力の働き 力のつり合い (2力のつり合い (中3から移行)を含む) <p>第3章 力のはたらき □p. 166</p> <ul style="list-style-type: none"> 力がはたらいている場面を見いだすことができる。 力とばねの伸びの関係を説明できる。 2力のつり合う条件について力の矢印で説明できる。 力の種類を説明できる。 	<p>光と音</p> <ul style="list-style-type: none"> 光の反射・屈折 (光の色を含む) 凸レンズの働き 音の性質 <p>第1章 光の性質 □p. 132</p> <ul style="list-style-type: none"> 光の反射と屈折の決まりを光線のモデルで説明できる。 凸レンズを使ったときできる像について光線のモデルで説明できる。 <p>第2章 音の性質 □p. 156</p> <ul style="list-style-type: none"> 音を波の性質で説明できる。 音の大小・高低を、振動で説明できる。 		
	第2学年	<p>電流</p> <ul style="list-style-type: none"> 回路と電流・電圧 電流・電圧と抵抗 電気とそのエネルギー (電気による発熱 (小6から移行)を含む) 静電気と電流 (電子, 放射線を含む) <p>電流と磁界</p> <ul style="list-style-type: none"> 電流がつくる磁界 磁界中の電流が受ける力 電磁誘導と発電 	<p>第1章 電流と電圧 □p. 146</p> <ul style="list-style-type: none"> 回路を流れる電流, 電圧, 抵抗の決まりを説明できる。 <p>第3章 電流の正体 □p. 204</p> <ul style="list-style-type: none"> 電流と電子の関係を説明できる。 放射線について説明できる。 <p>第2章 電流と磁界 □p. 182</p> <ul style="list-style-type: none"> 磁石のまわりにできる磁界のようすを理解できる。 電流, 磁界, 力の関係を理解できる。 		
	中学校	第3学年	<p>力のつり合いと合成・分解</p> <ul style="list-style-type: none"> 水中の物体に働く力 (水圧, 浮力 (中1から移行)を含む) 力の合成・分解 <p>第1章 力のつり合い □p. 14</p> <ul style="list-style-type: none"> 水圧と浮力の関係を説明できる。 2力の合成のしかた, 分解のしかたを説明できる。 <p>運動の規則性</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動の速さと向き 力と運動 <p>第2章 力と運動 □p. 32</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動は速さと向きで表せることを説明できる。 力を受け続ける運動と物体の速さの関係を説明できる。 <p>力学的エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕事とエネルギー 力学的エネルギーの保存 <p>第3章 仕事とエネルギー □p. 48</p> <ul style="list-style-type: none"> 物体のもつエネルギーの量は, ほかの物体になしうる仕事で測れることを説明できる。 エネルギーにはいろいろな種類があり, たがいに移り変わることを説明できる。 	<p>エネルギーと物質</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギーとエネルギー資源 (放射線を含む) 様々な物質とその利用 (プラスチック (中1から移行)を含む) 科学技術の発展 <p>最終単元 □p. 242</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活と環境との関わりについて説明できる。 これまで学んできた内容と私たちの生活や私たちのかかえる課題とのかかわりについて説明できる。 <p>自然環境の保全と科学技術の利用</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然環境の保全と科学技術の利用 (第2分野と共通) <p>最終単元 □p. 242</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活と環境との関わりについて説明できる。 これまで学んできた内容と私たちの生活や私たちのかかえる課題とのかかわりについて説明できる。 	

校種	学年	粒 子			
		粒子の存在	粒子の結合	粒子の保存性	粒子のもつエネルギー
小学校	第3学年			物と重さ ・形と重さ ・体積と重さ 12. ものの重さを調べよう ㊦p. 156 ・ものは形が変わっても重さは変わらない。 ・ものは体積が同じでも重さがちがうことがある。	
	第4学年	空気と水の性質 ・空気の圧縮 ・水の圧縮 3. 空気と水 ㊦p. 28 ・閉じこめた空気は押し縮められるが、水は押し縮められない。空気は押し縮められるほど、もとにもどろうとする力が強くなる。			金属、水、空気と温度 ・温度と体積の変化 ・温まり方の違い ・水の三態変化 7. 自然の中の水 ㊦p. 110 8. 水の3つのすがた ㊦p. 120 ・水は温度によって、固体(氷)→液体(水)→気体(水蒸気)とそのすがたを変える。水が氷になると体積が増える。 9. ものの体積と温度 ㊦p. 136 10. ものの温まり方 ㊦p. 162 ・暖められた空気は上に上がり、上の冷たい空気は下に沈む。
	第5学年			物の溶け方 (溶けている物の均一性(中1から移行)を含む) ・重さの保存 ・物が水に溶ける量の限度 ・物が水に溶ける量の変化 8. もののとけ方 ㊦p. 142 ・ものを水に溶かしたとき、水溶液の重さは、水の重さと溶かしたものの重さの和になる。 ・同じ温度でも、水の量を増やすと、ものの溶ける量は増える。 ・一定の量の水に溶けるミョウバンの量は、水の温度を上げると増えるが、食塩の量はあまり変わらない。	
	第6学年	燃焼の仕組み ・燃焼の仕組み 1. ものの燃え方と空気 ㊦p. 6 ・空気は窒素や酸素などの気体が混ざってできている。 ・ろうそくや紙などが燃えるときには、空気中の酸素が使われて二酸化炭素ができる。		水溶液の性質 ・酸性、アルカリ性、中性 ・気体が溶けている水溶液 ・金属を変化させる水溶液 8. 水溶液の性質 ㊦p. 148 ・水溶液は、リトマス紙の色の変わり方で、酸性、中性、アルカリ性の3つに分けることができる。 ・酸性…青色リトマス紙が赤色に変わる。 ・中性…青色リトマス紙も赤色リトマス紙も色が変わらない。 ・アルカリ性…赤色リトマス紙が青色に変わる。 ・塩酸に鉄やアルミニウムなどの金属を入れると、金属は溶けて気体が発生する。	

校種	学年	粒 子			
		粒子の存在	粒子の結合	粒子の保存性	粒子のもつエネルギー
小学校	第1学年	<p>物質のすがた</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りの物質とその性質 気体の発生と性質 <p>第1章 物質の分類 □p. 68</p> <ul style="list-style-type: none"> 物質の性質を調べる方法、物質を分類する基準を説明できる。 物質に決まった密度があることを説明できる。 目に見えない現象をモデルで表現できる。 <p>第2章 粒子のモデルと物質の性質 □p. 84</p> <ul style="list-style-type: none"> 物質の溶け方を粒子のモデルで説明できる。 溶解や再結晶を溶解度曲線で説明できる。 気体のもつ性質を説明できる。 		<p>水溶液</p> <ul style="list-style-type: none"> 水溶液 <p>第2章 粒子のモデルと物質の性質 □p. 84</p> <ul style="list-style-type: none"> 物質の溶け方を粒子のモデルで説明できる。 溶解や再結晶を溶解度曲線で説明できる。 気体のもつ性質を説明できる。 	<p>状態変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 状態変化と熱 物質の融点と沸点 <p>第3章 粒子のモデルと状態変化 □p. 106</p> <ul style="list-style-type: none"> 物質の状態変化を粒子のモデルで説明できる。 状態変化の考えで、蒸留を説明できる。
	第2学年	<p>物質の成り立ち</p> <ul style="list-style-type: none"> 物質の分解 原子・分子 <p>第1章 物質のなりたちと化学変化 □p. 16</p> <ul style="list-style-type: none"> 物質は原子や分子からできており、化学式で表されることを説明できる。 化学変化により物質を結びつけたり、分解したりできることを説明できる。 	<p>化学変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学変化 化学変化における酸化と還元 化学変化と熱 <p>第2章 化学変化と物質の質量 □p. 42</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学反応式の書き方や、化学反応式が表す意味について説明できる。 <p>第3章 化学変化の利用 □p. 58</p> <ul style="list-style-type: none"> 還元について説明できる。 化学変化には熱の出入りがともなうことを説明できる。 		
	中学校	第3学年	<p>水溶液とイオン</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子の成り立ちとイオン 酸・アルカリ 中和と塩 <p>第1章 水溶液とイオン □p. 134</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子のつくりを説明できる。 溶解をイオンの化学式で説明できる。 電気分解を化学式で説明できる。 <p>第2章 酸・アルカリとイオン □p. 152</p> <ul style="list-style-type: none"> 酸性やアルカリ性の強さは pH で表されることを説明できる。 酸とアルカリのそれぞれの性質が水素イオンと水酸化物イオンによることを説明できる。 酸とアルカリを混ぜると、水と塩が生成することをイオンの化学式で説明できる。 	<p>化学変化と物質の質量</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学変化と質量の保存 質量変化の規則性 <p>第2章 化学変化と物質の質量 □p. 42</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学反応式の書き方や、化学反応式が表す意味について説明できる。 	
		<p>化学変化と電池</p> <ul style="list-style-type: none"> 金属イオン 化学変化と電池 <p>第3章 電池とイオン □p. 170</p> <ul style="list-style-type: none"> 金属の組み合わせによって、化学変化の起こり方にちがいがあつたことを説明できる。 電池をイオンと電子のモデルで説明できる。 			
		<p>エネルギーと物質</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギーとエネルギー資源（放射線を含む） 様々な物質とその利用（プラスチック（中1から移行）を含む） 科学技術の発展 	<p>最終単元 □p. 242</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活と環境との関わりについて説明できる。 これまで学んできた内容と私たちの生活や私たちのかかえる課題とのかかわりについて説明できる。 		
		<p>自然環境の保全と科学技術の利用</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然環境の保全と科学技術の利用（第2分野と共通） 	<p>最終単元 □p. 242</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活と環境との関わりについて説明できる。 これまで学んできた内容と私たちの生活や私たちのかかえる課題とのかかわりについて説明できる。 		

校種	学年	生 命		
		生物の構造と機能	生命の連続性	生物と環境の関わり
小学校	第3学年	<p>身の回りの生物</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りの生物と環境との関わり 昆虫の成長と体のづくり 植物の成長と体のづくり <p>1. しぜんのかんさつ □p. 6 ・春になると、校庭や野原では、いろいろな植物や動物が見られるようになる。</p> <p>2. 植物を育てよう □p. 16 ・植物のからだは、葉、茎、根 からできている。</p> <p>4. チョウを育てよう □p. 46 5. こん虫を調べよう □p. 70 ・昆虫のからだは 頭、胸、腹 に分けられる。</p>		
	第4学年	<p>人の体のつくりと運動</p> <ul style="list-style-type: none"> 骨と筋肉 骨と筋肉の働き <p>11. 人の体のつくりと運動 □p. 178 ・ヒトのからだの中には、かたい骨がある。骨と骨のつなぎ目を関節といい、筋肉のはたらきによってひじなどが動く。</p>	<p>季節と生物</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物の活動と季節 植物の成長と季節 <p>1. 季節と生き物の様子 □p. 6 ・春になると、校庭や野原では、いろいろな植物や動物が見られるようになる。</p>	
	第5学年	<p>植物の発芽、成長、結実</p> <ul style="list-style-type: none"> 種子の中の養分 発芽の条件 成長の条件 植物の受粉、結実 <p>2. 種子の発芽と成長 □p. 18 ・植物は、種子の中の養分をもとにして発芽する。発芽には、水、空気、温度が関係している。 ・植物の成長には、日光や肥料などが関係している。</p> <p>4. 実や種子のでき方 □p. 64 ・花には、花びら、おしべ、めしべ、がく がある。 ・花粉がめしべの先につくと、めしべのもとが実になり、実の中に種子ができる。</p>	<p>動物の誕生</p> <ul style="list-style-type: none"> 卵の中の成長 母体内の成長 <p>3. 魚のたんじょう □p. 38 ・メダカの雄がつくる精子と、雌がつくる卵が出会うと受精が起こり、受精卵からやがて子がうまれる。</p> <p>9. 人のたんじょう □p. 160 ・ヒトは、受精卵が母親の子宮で成長してうまれる。メダカは、水中に卵をうみ、その受精卵が変化して、子がかえる。</p>	
	第6学年	<p>人の体のつくりと働き</p> <ul style="list-style-type: none"> 呼吸 消化・吸収 血液循環 主な臓器の存在 <p>2. 人や動物の体 □p. 26 ・食物は、口、食道、胃、小腸と運ばれる間に消化される。小腸から吸収された養分は、血液によって全身に運ばれたり、一部は肝臓にたくわえられたりする。消化されなかった食物は、大腸を通過して体外に出される。 ・ヒトの鼻や口から入った空気は肺に入る。肺では酸素が取りこまれて血液に入り、血液中の二酸化炭素が体外に出される。 ・血液は、養分や酸素をからだのすみずみまで運び、からだの各部で不要になった二酸化炭素などを受け取る。血液は心臓から送り出され、また心臓にもどってくる。</p>	<p>植物の養分と水の通り道</p> <ul style="list-style-type: none"> でんぷんのでき方 水の通り道 <p>3. 植物の養分と水 □p. 46 ・植物の葉に日光が当たるとデンプンができる。 ・根、茎、葉には、水の通り道があり、根から吸い上げられた水は、茎を通過して主に葉から水蒸気になって出ていく。</p>	<p>生物と環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 生物と水、空気との関わり 食べ物による生物の関係（水中の小さな生物（小5から移行）を含む） 人と環境 <p>4. 生物のくらしと環境 □p. 62 ・すべての生物は、食べる・食べられるの関係でつながっている。</p> <p>10. 人と環境 □p. 200</p>

校種	学年	生 命		
		生物の構造と機能	生命の連続性	生物と環境の関わり
小学校	第1学年	生物の観察と分類の仕方 ・生物の観察 ・ <u>生物の特徴と分類の仕方</u> 第1章 身近な生物の観察 p.22 ・生物の調べ方や観察のしかたを身につける。		
		生物の体の共通点と相違点 ・植物の体の共通点と相違点 ・動物の体の共通点と相違点 …(中2から移行)… 第2章 植物の分類 p.32 ・花のつくりとはたらきを説明できる。 ・植物がからだのつくりにもとづいて分類できることを説明できる。 第3章 動物の分類 p.48 ・脊椎動物の分類と、その基準について説明できる。 ・節足動物と軟体動物のからだのつくり、脊椎動物とのちがいを説明できる。		
	生物と細胞 ・生物と細胞・植物の成長と体のつくり 第1章 生物のからだと細胞 p.76 ・生物のからだは細胞からできていることを説明できる。 ・植物と動物の細胞のつくりの特徴を説明できる。			
中学校	第2学年	植物の体のつくりと働き ・葉・茎・根のつくりと働き …(中1から移行)… 第2章 植物のつくりとはたらき p.88 ・植物のからだの各部分を蒸散と関連づけて理解する。 ・植物のからだの各部分を光合成や呼吸と関連づけて理解する。		
		動物の体のつくりと働き ・生命を維持する働き ・刺激と反応 第3章 動物のつくりとはたらき p.108 ・動物が生命を維持するしくみについて、ヒトを例に説明できる。 ・動物がからだを動かすしくみについて説明できる。		
	第3学年	生物の成長と殖え方 ・細胞分裂と生物の成長 ・生物の殖え方 第1章 生物の成長・生殖 p.78 ・細胞分裂を生物の成長と関連づけて説明できる。 ・有性生殖や無性生殖のしくみを説明できる。	遺伝の規則性と遺伝子 ・遺伝の規則性と遺伝子 第2章 遺伝と進化 p.94 ・有性生殖・無性生殖のしくみとその特徴を説明できる。 ・有性生殖のしくみとその特徴を遺伝子をもちいて説明できる。 ・進化について説明できる。	生物と環境 ・自然界のつり合い ・自然環境の調査と環境保全 ・地域の自然災害 最終単元 p.242 ・私たちの生活と環境との関わりについて説明できる。 ・これまで学んできた内容と私たちの生活や私たちがのかかえる課題とのかかわりについて説明できる。
		生物の種類の多様性と進化 ・ <u>生物の種類の多様性と進化</u> …(中2から移行)… 第3章 生態系 p.114 ・生態系という見方で、生物を関連づけて説明できる。 ・生態系で物質が循環するしくみについて説明できる。 ・生態系における生物量のつり合いが保たれていることを説明できる。		自然環境の保全と科学技術の利用 ・自然環境の保全と科学技術の利用 〈第1分野と共通〉 最終単元 p.242 ・私たちの生活と環境との関わりについて説明できる。 ・これまで学んできた内容と私たちの生活や私たちがのかかえる課題とのかかわりについて説明できる。

校種	学年	地 球		
		地球の内部と地表面の変動	地球の大気と水の循環	地球と天体の運動
小学校	第3学年		<p>太陽と地面の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日陰の位置と太陽の位置の変化 ・地面の暖かさや湿り気の違い 	<p>3. かげと太陽 □p. 24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽によって暖められた日なたの地面は、日かげの地面に比べて暖かく、かわいている。 ・太陽や月は、東から昇り、南の空を通過して西へと沈む。
	第4学年	<p>雨水の行方と地面の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地面の傾きによる水の流れ ・土の粒の大きさと水のしみ込み方 <p>5. 雨水の流れ □p. 56</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水は、高い場所から低い場所へ流れて集まる。 	<p>天気の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気による1日の気温の変化 ・水の自然蒸発と結露 <p>2. 1日の気温と天気 □p. 16</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水は、水面や地面などから蒸発し、水蒸気になって空気中に出ていく。空気中の水蒸気が冷えると、再び水になって現れる。 ・晴れの日の1日の気温は、大きく変化する。雨の日の気温は、あまり変化しない。 	<p>月と星</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月の形と位置の変化 ・星の明るさ、色 ・星の位置の変化 <p>6. 月と星 □p. 90</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽や月は、東から昇り、南の空を通過して西へと沈む。 ・星の集まりのならば方は変わらないが、1日の中でも時刻によって見える位置は変わる。
	第5学年	<p>流れる水の働きと土地の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・流れる水の働き ・川の上流・下流と川原の石 ・雨の降り方と増水 <p>6. 流れる水のはたらき □p. 94</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川の上流の石は大きく角ばっているが、下流の石は小さくて丸い。 ・雨が多く降ると流れる水の速さや水の量が増え、増水により土地のようすが大きく変化することがある。 	<p>天気の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雲と天気の変化 ・天気の変化の予想 <p>5. 雲と天気の変化 □p. 78</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本では、夏から秋にかけてしばしば台風がやってくる。 ・日本には四季があり、気温が変化して自然のようすが移り変わる。 	
	第6学年	<p>土地のつくりと変化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土地の構成物と地層の広がり(化石を含む) ・地層のでき方 ・火山の噴火や地震による土地の変化 <p>7. 大地のつくりと変化 □p. 116</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火山が噴火すると、火山灰が降ったり、溶岩が流れ出たりする。火山の噴火によって大地が変化することもある。 ・がけなどに見られるしま模様を地層という。地層は、れき、砂、泥、火山灰などからできていて、これらが層をつくっているため、しま模様に見えることがある。 ・地層には化石がふくまれていることがある。 ・大地のずれを断層といい、断層ができるときに地震が起こる。大きな地震が起こると、大地が大きく変化することがある。 		<p>月と太陽</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月の位置や形と太陽の位置 <p>6. 月の形と太陽 □p. 100</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月は球形をしていて、表面は岩石でできている。 ・月の形は日があつにつれ、満ちたり欠けたり変化していく。

校種	学年	地球		
		地球の内部と地表面の変動	地球の大気と水の循環	地球と天体の運動
小学校	第1学年	<p>身近な地形や地層, 岩石の観察</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近な地形や地層, 岩石の観察 	<p>第1章 火山 □p.192</p> <ul style="list-style-type: none"> マグマのねばりけと火山の形の関係を説明できる。 マグマと火山灰, 火成岩, 鉱物の関係を説明できる。 <p>第2章 地層 □p.210</p> <ul style="list-style-type: none"> 堆積岩の種類について説明できる。 過去の環境や年代を推定する方法を説明できる。 	
		<p>地層の重なりと過去の様子</p> <ul style="list-style-type: none"> 地層の重なりと過去の様子 	<p>第2章 地層 □p.210</p> <ul style="list-style-type: none"> 堆積岩の種類について説明できる。 過去の環境や年代を推定する方法を説明できる。 	
		<p>火山と地震</p> <ul style="list-style-type: none"> 火山活動と火成岩 地震の伝わり方と地球内部の働き 	<p>第1章 火山 □p.192</p> <ul style="list-style-type: none"> マグマのねばりけと火山の形の関係を説明できる。 マグマと火山灰, 火成岩, 鉱物の関係を説明できる。 <p>第3章 地震 □p.230</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震のゆれの大きさの表し方や, 伝わり方の決まりを説明できる。 地震の原因と地球内部のつくりを関連づけて説明できる。 地震にともなう大地の変化を説明できる。 火山や地震などを原因とする恵みや災害を説明できる。 	
中学校	第2学年	<p>第1章 大気の性質と雲のでき方 □p.224</p> <ul style="list-style-type: none"> 圧力や気圧について説明できる。 露点と湿度について説明できる。 雲のでき方について理解できる。 <p>第2章 天気の変化 □p.242</p> <ul style="list-style-type: none"> 気象要素と天気との関係を説明できる。 天気図と風のふき方との関係について説明できる。 前線の種類と天気の変化のしかたについて説明できる。 	<p>気象観測</p> <ul style="list-style-type: none"> 気象要素(圧力(中1の第1分野から移行)を含む) 気象観測 <p>天気の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 霧や雲の発生 前線の通過と天気の変化 <p>日本の気象</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の天気の特徴 大気の動きと海洋の影響 <p>自然の恵みと気象災害</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然の恵みと気象災害(中3から移行) 	<p>第2章 天気の変化 □p.242</p> <ul style="list-style-type: none"> 気象要素と天気との関係を説明できる。 天気図と風のふき方との関係について説明できる。 前線の種類と天気の変化のしかたについて説明できる。 <p>第3章 日本の天気 □p.254</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本の天気や季節と, 高気圧, 気団, 季節風, 海洋の関係を説明できる。 それぞれの季節に特徴的な気圧配置や天気などについて説明できる。 気象の変化に関わる恵みや災害について説明できる。
		<p>生物と環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然界のつり合い 自然環境の調査と環境保全 地域の自然災害 	<p>最終単元 □p.242</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活と環境との関わりについて説明できる。 これまで学んできた内容と私たちの生活や私たちのかかえる課題とのかかわりについて説明できる。 	
		<p>自然環境の保全と科学技術の利用</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然環境の保全と科学技術の利用(第1分野と共通) 	<p>最終単元 □p.242</p> <ul style="list-style-type: none"> 私たちの生活と環境との関わりについて説明できる。 これまで学んできた内容と私たちの生活や私たちのかかえる課題とのかかわりについて説明できる。 	
	第3学年			<p>天体の動きと地球の自転・公転</p> <ul style="list-style-type: none"> 日周運動と自転 年周運動と公転 <p>第2章 太陽や星の見かけの動き □p.204</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽の日周運動・年周運動を, 地球の自転・公転と関連づけて説明できる。 星の日周運動・年周運動を, 地球の自転・公転と関連づけて説明できる。 <p>太陽系と恒星</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽の様子 惑星と恒星 月や金星の運動と見え方 <p>第1章 太陽系と宇宙の広がり □p.193</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽系を構成する天体について説明できる。 太陽系よりも外の広がりについて説明できる。 <p>第3章 天体の満ち欠け □p.226</p> <ul style="list-style-type: none"> 月の見え方を, 太陽・地球・月の位置関係にもとづいて説明できる。 金星の見え方を, 地球, 太陽, 金星の位置関係にもとづいて説明できる。